

高齢者を対象とした 自転車タクシーによるコミュニティ輸送事業

NPO法人五環生活

代表 近藤 隆二郎、○福江 岬

1. 活動方針・目的

交通弱者の実態を把握し、日常的な外出機会を創出する事。また、自転車タクシーをコミュニケーションの場としても提供し、これまで籠もりがちな方の日常生活に対し、新しい楽しみを提供し、生活の質を豊かにする事。

2. 活動内容

対象地区は、旧城下町ということもあり、その雰囲気の色濃く残しているところは一問半（約2.7m）の狭隘道路に面しており、タクシーなど車が容易に入れない地域が存在している。細街路の奥では移動手段が無い高齢者などが取り残され、引きこもってしまう状況が潜在化している。さらには、コミュニティバスの経営状況の悪化による系統整理及び減便がさらなる不便を招くという悪循環に陥っている。また、移動に困難を抱える交通弱者の問題は、自治会等では少数のために声があがりにくい。市の調査をしても困っている声はそもそも少数であるために把握しにくい。実際に必要とされる人たちに対応したサービス提供ができていないのが現状である。

そこで、自転車タクシーを用いることで、タクシーやバスなどの交通機関ではカバー出来ない部分を補い、移動手段の無い交通弱者にとってドアtoドアの輸送を実施する。

会員制として利用者を募ることで、実態を把握し、利用者のニーズに沿った自転車タクシーを創り上げる。

3. 他の活動団体の参考となる事例

まず、事業実施に当たり、地域の方々の理解を得る為に対面での広報活動と多様な主体との協働に力点を置いた。新しいものを受け入れにくいという土地柄もあり、自治会長から順に対話＋試乗を行い、何度も会合やイベントに顔を出し理解浸透を行った。また、これに当り、市や社会協議会、市議会議員など多様な関係者から助言を仰ぎ、更に地元の顔が利く協力者を得たことが事業浸透に大きく寄与している。特に、事業対象が高齢者の為、口コミや市広報誌など理解の有る人・物からの宣伝効果は大きい。

車両に関しては、足の悪い方には段差を和らげる為に乗降者の際のステップを用意したこと、車内に手すりをつけたことなど、利用者の声を聞きながら、常に使い勝手の良い車体へと改善してきた。また、寒くなる秋以降は車体を透明シートで囲い、湯たんぽや毛布を載せるなど、利用者にとって現代のりたく「自転車タクシー」が、暖かく懐かしいサービスになるよう工夫している。

4. 今後の課題等

今後の課題は、運営資金の確保である。自転車タクシーは移動距離の割には1回の出勤時間が長く、かつ高単価は受け入れられにくいこともあり、運賃収入だけでは継続できない。現在、助成金がなければ継続的に実施できない。利用者の増加（稼働数ではなく使う人の増加）から、べんりたくの理解を地域全般に促し、将来的には個人サポーターや地場の病院などの広告による、地域で走らせる自転車タクシーが理想的である。



高齢者を対象とした 自転車タクシーによるコミュニティ輸送事業

特定非営利活動法人 五環生活
事務局 福江岬



自転車タクシーの彦根運行について

- 2007年-
- 03 国宝・彦根城築城400年祭セレモニー走行
- 04 ひこねペロタクシー運行開始
- 08 彦根城内特別運行
- 2008年-
- 04 ABCハウジング草津
- 08 井伊直弼と開国150年祭市民創造事業
かんでんジョイナス
- 11 ひこね市民マラソン大会伴走(以降毎年)
- 2009年-
- 02 長浜盆梅展特別運行
- 10 びわ湖環境ビジネスメッセ(以降毎年)
ゆるキャラまつりin彦根(以降毎年)
- 2010年-
- 01 長浜市運行開始(～5月末)
福祉輪タク「城西輪タク」試験運行
(「新たな公」によるコミュニティ創出支援モデル事業)
- 03 福祉輪タク「べんりんたく」運行開始
- 08 独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業 開始

環境に配慮した新しい移動手段として2007年に導入。

観光案内やイベント出張などで自転車タクシーの運行を実施。
徒歩より早く、車より遅い独特のスピード感が人気である。

2010年1月より自転車タクシーの福祉利用を開始。

国交省のモデル事業として試験運行を試み、以降、定期運行を実施。

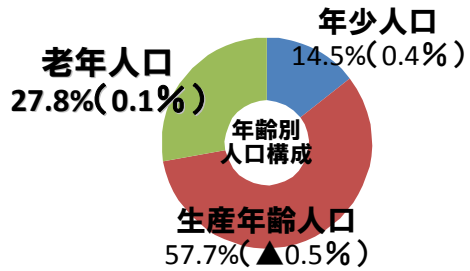
現在では、休日を観光中心、平日を福祉利用中心に運行を実施している。

現在自転車タクシー3台、リキシャ2台

活動地域の概要

○ **高齢化地域**

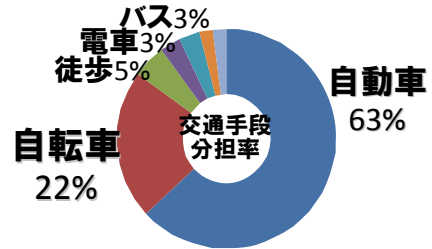
高齢化率27.8%(彦根市20.3%)
市内でも高齢化が進んでいる地域



※H20-21年版彦根市統計調査より

○ **旧城下町の街並み**

- 城下町の雰囲気の色濃く残す通りは、約2.7mの狭隘道路に面する。
- 路地裏は細街路が多く、高齢者も多い。
- 車を持たない高齢者(交通弱者)は、公共交通手段に頼る事ができず、自力での外出を強いられる。



H20年彦根市の公共交通に関するアンケートより

交通弱者は少数派の為、声が上がりにくく、必要とする人たちにサービスが行き届かない。



福祉輪タクシーサービス「べんりんたく」の概要

観光に使っていた自転車タクシーなら車の通れない細街路でも運行可能な為、福祉利用として使う事にしました。

○ **事業内容**

会員登録制自転車タクシーの運行
交通弱者の実態把握

○ **対象**

彦根市内お年寄り
お体の不自由な方
お子様(乳幼児)連れの方

○ **料金(1乗車おひとり様)**

半径1km 300円
1km～1.5km未満=500円
1.5km～2km未満=800円

○ **定休日**

火曜日、強雨時

福祉輪タクシーサービス 2010年3月17日(水)～

愛称 **べんりんたく** を、
地区を拡大して開始します！

地元のお年寄り・身体の不自由な方に通常より低料金で運行します。

お買い物に。ちょっとしたお出かけに。保育園のお迎えに。
荷物だけでも運びます！
便利な輪タク(べんりんたく)を是非ご利用ください。

送迎に！
通院に！
お策に！
シブシブに！

- 対象：彦根市内のお年寄り・お身体の不自由な方・お子様(乳幼児)連れの方
- 範囲：自転車タクシーの走行範囲(芹川～彦根城まで、カインズ～花しょうぶ通り商店街・彦根駅あたりまで)
- 料金：1乗車おひとり様
1km未満=300円
1km以上1.5km未満=500円
1.5km以上=800円
- 運行時間：朝7時～夜7時
- 定休日：火曜日、強雨時

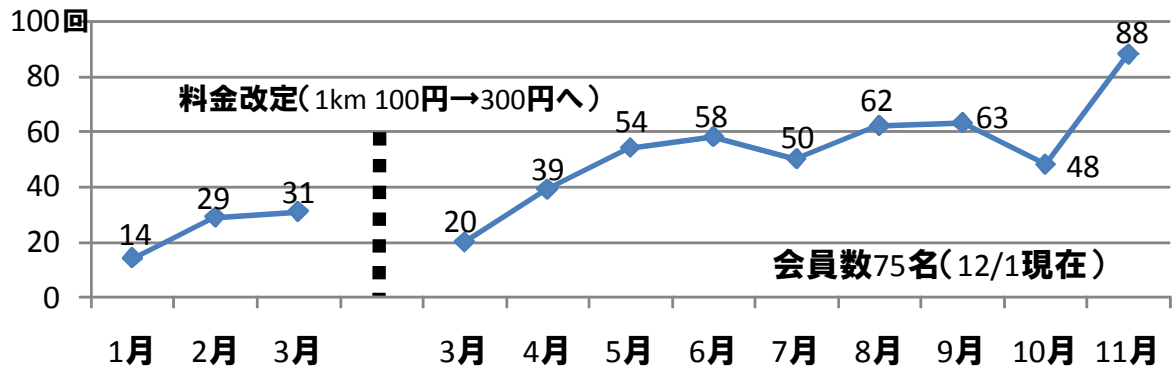
ご予約・福祉輪タク 090-652-2717

NPO 法人 五環生活 522-0088 滋賀県彦根市観音町1-4 tel: 0749-26-1463 fax: 0749-29-1245 mail@gokan-seikatsu.jp http://gokan-seikatsu.jp

使いやすい、あたたかい車両へ(冬季)



月別利用回数、利用シーン



悪天候が多かった月を除き、毎月増加傾向にある。高齢者だけでなく、乳幼児を連れた親子、幼稚園送迎など、利用シーンは増える傾向に。

利用者の声

- ・家の前まで来れるのは自転車タクシーだけなので、無くてはならない物になった。(80代女性)
- ・近距離移動でタクシーや家族にお願いするのは気が引けるので助かる。(80代女性)
- ・足が悪いので助かります(80代女性)
- ・楽しく談話出来た。(80代女性)
- ・外の風が気持ちいい(80代女性)
- ・街が懐かしかった(80代女性)

移動+コミュニケーションツールとしての利用可能性が見出せた。

事業成果

○ **対象地域の交通弱者について**

移動範囲は**徒歩や自転車で行くことが出来る生活圏内**が大半
行き先は固定化傾向(開業医、最寄りスーパー、商店etc)

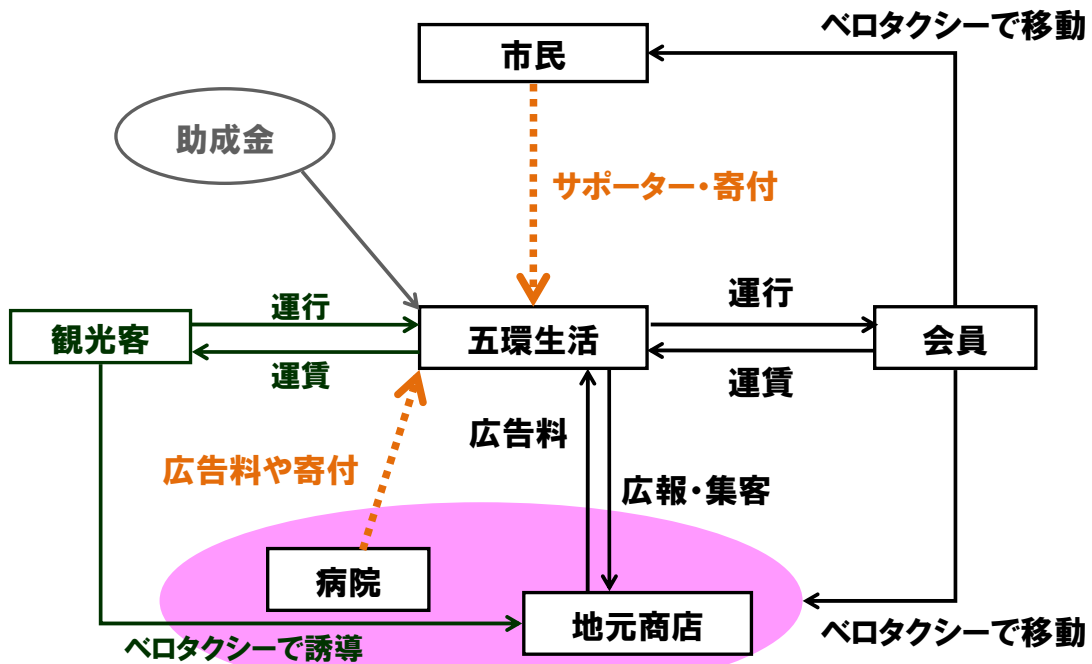
○ **交通弱者が外に出にくくなる要因**

タクシーが家の前まで入れない
近距離移動の為にタクシーや家族には頼みにくい
荷物が持てない、足が悪い

○ **自転車タクシーの可能性**

ドアtoドアの輸送が可能
短距離移動に使い勝手が良い
コミュニケーションツールとしての価値
景色・風・匂いなど、外的環境との触れ合いによる生活の楽しみ創出

事業モデルと課題



利用のある地場商店、病院や市民をサポーターとして巻き込み、地域で交通弱者をフォローできるべんりんたくへ。